

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年01月14日

計画の名称	鎌ヶ谷市ふれあい空間づくり													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	鎌ヶ谷市													
計画の目標	1、都市公園面積の増加及び減少傾向にある市街地の緑を保全するため、市街地の後援緑地整備及び「ふれあいの森」の都市公園化（公有地化）を進める。 2、新鎌ヶ谷駅周辺において緑化活動に関心をもちやすい環境を形成するため、新鎌ヶ谷駅周辺の緑化を市民協働で進めることで、市民の緑化活動への関心を高めるため、緑化活動に参加する人、団体を増やす。 3、市街地の公園緑地整備や市民協働の緑化活動を通じて、市民の緑に対する満足度を向上させる。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,221	A	1,221	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R3当初）		（R7末）
1	市民一人当たりの公園面積を3.3㎡／人（R3）から3.7㎡／人（R7）に増加			
	市民一人当たりの公園面積 鎌ヶ谷市内公園面積／鎌ヶ谷市人口	3㎡／人	㎡／人	4㎡／人
2	官民連携により緑化活動を行う主体数を0／人・団体（R5）から1.5／人・団体（R7）に増加			
	官民連携により緑化活動を行う主体数 官民連携により緑化活動を行う人数+団体数	0人・団体	人・団体	2人・団体
3	市民意識調査の緑に対する満足度を31％（H30）から33.8％（R7）に増加			
	市民意識調査の緑に対する満足度 満足度＝（「満足している」の数+「まあ満足している」の数）／（回答者数）×100	31%	%	34%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R03R04R05R06R07																	
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	－	－	鎌ヶ谷市グリーンインフラ活用型都市構築支援事業	グリーンインフラ活用型都市構築（公園緑地の整備6箇所、公園緑地の用地取得4箇所、公共公益施設の緑化1箇所）	鎌ヶ谷市	■	■	■	■	■	1,221		－
											小計						1,221		
											合計						1,221		

事前評価チェックシート

計画の名称： 鎌ヶ谷市ふれあい空間づくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本計画との適合等 1) 計画の目標が基本計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①基本計画との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) ふれあい空間の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が得られるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元との協力 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元との協力 住民の意見を取り入れている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

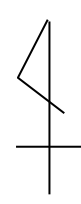
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R03	R04	R05	R06	R07
配分額 (a)	98	18.3	15	15.3	58.28
計画別流用増△減額 (b)	3.1	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	101.1	18.3	15	15.3	58.28
前年度からの繰越額 (d)	0	3.1	0	15	0
支払済額 (e)	98	21.4	0	30.3	
翌年度繰越額 (f)	3.1	0	15	0	
うち未契約繰越額 (g)	3.1	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合 その理由	-	-	-	-	

3・4・5号 新緑高層ビルビル	7,100	18
3・4・6号 北相宮新ビルビル	4,340	16
3・4・7号 中相宮新ビルビル	2,500	16
3・4・8号 中相宮新ビルビル	2,400	18
3・4・9号 中相宮新ビルビル	2,850	25
3・4・10号 中相宮新ビルビル	4,450	16
3・4・11号 中相宮新ビルビル	600	12
3・4・12号 中相宮新ビルビル	1,560	12
3・4・13号 中相宮新ビルビル	440	28
3・4・14号 中相宮新ビルビル	4,000 m ²	
3・4・15号 中相宮新ビルビル	840	22
3・4・16号 中相宮新ビルビル	1,130	22
3・4・17号 中相宮新ビルビル	1,300	14
7・6・1号 中相宮新ビルビル	380	10
7・6・2号 中相宮新ビルビル	240	6
7・6・3号 中相宮新ビルビル	400	6
8・7・1号 中相宮新ビルビル	300	6
都府高層ビルビル1号機(東武野田線)	3,470	
都府高層ビルビル2号機(東武野田線)	5,170	

A12-001 都市公園等事業
(栗野地区公園)



A12-002 鎌ヶ谷市グリーンインフラ
活用型都市構築支援事業
(赤枠区域)

凡	例	面積
都市計画区域	都市計画区域	2,111
市街化区域	市街化区域	1,073
市街化調整区域	市街化調整区域	1,038
第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	567
第1種住居地域	第1種住居地域	106
第2種住居地域	第2種住居地域	221
準住居地域	準住居地域	61
近隣商業地域	近隣商業地域	5
商業地域	商業地域	29
工業地域	工業地域	23
防火地域	防火地域	61
準防火地域	準防火地域	
第1種高度地区	第1種高度地区	000 1
第2種高度地区	第2種高度地区	000 2
生産緑地地区	生産緑地地区	
地区計画区域	地区計画区域	94.1
土地活用促進事業施行区域	土地活用促進事業施行区域	
都市計画公園	都市計画公園	
都市計画道路	都市計画道路	
都市高速道路	都市高速道路	
都市計画鉄道線路	都市計画鉄道線路	
(注) 1 緑地帯	(注) 1 緑地帯	
(注) 2 緑地帯	(注) 2 緑地帯	

